

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会議の名称		第2回川島町男女共同参画推進委員会
開催日時		平成26年2月20日（木） 午後2時～3時45分
開催場所		川島町役場本庁舎決裁室
議 題		<p>(1) 会議の公開について</p> <p>(2) 会議録の記録方法及び会議録署名委員の指名について</p> <p>(3) 平成25年度の男女共同参画に関する取組について</p> <p>(4) 平成26年度の男女共同参画に関する取組について</p> <p>①平成26年度におけるDV相談体制について</p> <p>②平成26年度事業計画について</p>
公開・非公開の別		公 開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	<p>1号委員 関根由希江、利根川晃美</p> <p>2号委員 関光一、柳川浩寿、松本智</p> <p>3号委員 高野勝一、南義明</p> <p>4号委員 谷澤喜美江、大野清子、大畑みよの</p>
	事務局職員	総務課 粕谷克己、山崎勝義、江間裕一、杉内弓子
配布資料		<p>資料1 平成25年度における男女共同参画の取組状況について</p> <p>資料2 平成26年度におけるDV相談体制について（案）</p> <p>資料3 川島町DV対策庁内連携会議設置要綱（案）</p> <p>資料4 平成26年度事業計画について</p> <p>参考資料 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（抜粋）</p> <p>川島町男女共同参画によるまちづくり条例</p>

審議会等の内容・概要

1 開会

2 あいさつ 関委員長

3 議事

(1) 会議の公開について

- ・ 個人情報を含む内容の審議ではないことから公開と決定した。

(2) 会議録及び会議録署名委員の指名について

- ・ 会議録は発言者の発言内容ごとの要点記録とすることとし、会議録指名委員は委員長の指名により、柳川浩寿委員及び松本智委員に決定した。

(3) 平成25年度の男女共同参画に関する取組について

- ・ 資料1により、事務局から平成25年度の男女共同参画に関する取組状況について説明した。
- ・ この説明を基に、委員から意見を募った。

【意見】

○平成25年度の男女共同参画に関する取組について

【委員】現在、町内の小中学校では名簿を混合名簿（男女の別のないあいうえお順）としているのか、別名簿（男女別のあいうえお順）としているのか。どっちが良い、悪いということではないが、男女別名簿だと男子が先、女子が後ろという意識ができるといった話もある。この場にいる委員が混合名簿の方が良いという考えであれば、今後提言をするなど考えてもらいたい。

【事務局】現在は別名簿を採用している。教育委員会の考えも聞いて、方針を報告したい。また、この場で是正に意見が出るようならば発議したい。

【委員】11月に町民会館で行われた男女共同参画に関する講演会の感想や受講者の意識変容などの結果が聞きたい。

【事務局】人権同和研修会の一環で、男女共同参画をテーマとした。

参加者は395名、うちアンケート回収が256名。全体に内容が難しかったとの意見が寄せられている。その中で、女性の就業状況についての驚きの声や男性の家事参加、育児参加についての意見、講演内容を家庭の中で考えるきっかけとしたいといった意見があった。

女性の労働力率（M字カーブ）などに対応する県ウーマノミクス課の動きがある。町でも合わせて女性の雇用促進政策を図っていきたい。

【委員】基本目標2の①女性職員の採用・登用等の推進、②町の審議会等委員への女性の参画の推進については、どのようになっているか。

【事務局】現在は、男女共同参画推進計画策定時の数値よりやや上回っている。（一般職員に占める女性の割合、審議会等委員における女性の割合）

なお、来年度の新規採用職員予定者11名のうち5名が女性で半数を占めている。また審議会等委員の女性の割合も、3割を目標としているので、公募委員も含めて女性委員の登用を図りたい。それに合わせ、審議会等委員については公募委員を入れるよう各条例の改正を進めている。

また、審議会等委員の人選には町の人材バンクの利用も行っている。

(4) 平成26年度の男女共同参画に関する取組について

・資料2～4及び参考資料により、事務局から平成26年度の男女共同参画に関する取組について説明した。

・この説明を基に、委員から意見を募った。

【意見】

○平成26年度におけるDV相談体制について

【委員】DV相談について進めていくのは良いことだと思う。ただ、DVの相談は切迫した状況が多い。電話も一度ですべてがすむような配慮がほしい。

【事務局】タライ回しにしない体制を整える。また、支援に対する会議や情報交換などをやっているが、正式な形で進めていくために要綱を制定したい。なお、3月の行政会議で報告を行い、4月から実施できる体制を整えたい。

【委員】相談を受けるには、カウンセリングなどの知識があったり、ある程度専門性があったりしたほうが良い。相談担当職員の研修の実施、研修の拡充をしてもらいたい。

【委員】：役場の職員は、行政サービスの一環として全員DVについての知識を身につけたほうが良い。

【事務局】DVに関する基礎的な研修を行いたい。

○平成26年度事業計画について

【委員】一般対象の研修についてだが、公民館活動で行っていくと意識改革につながるのではないだろうか。

【委員】男女共同参画のテーマは多岐にわたる。専門的な内容ではなく、より分かりやすい表現を取り入れた内容で、DVやセクハラその他の内容の研修があったらよいのではないか。

【事務局】公民館事業として講師を派遣しても良いかもしれない。生涯学習課と連携を図りたい。


【委員】女性管理職の登用についても、仕組み作りを含めて公のところが率先してやってもらいたい。評価を含めて段階を踏んで制度を変えていってもらいたい。

【事務局】町として女性管理職を登用したいと考えている。

4 その他

・次回は、平成26年5～6月ごろで日程を調整し、後日、決定することにした。

5 閉会 関根副委員長

署 名	柳川 浩月 
	松本 智 